わかき民報
所行發
いわき民報社
（第一八三番）
電話一番
人行發兼編輯
人刷印兼
己克鉄千
日曜日を除く毎日發行
定價一部一円五十銭　月分一円五十銭

豫想より六千石の減収？

豐作の蔭にさす早害の影

失れても前年より七千石增

正男、江尻忠平、大平清（生産部委員）▼第四班赤井（赤井、上下小川、川前）金成、長谷川（擔任）根本軍平（生産部委員）▼第五班澤渡（澤渡、三阪、永戸筆輪）小田切、佐藤（擔任）佐藤長一、阿部京治（委員）▼第六班湯本（内郷、湯本、磐崎、渡邊）芳賀（擔任）皆川源三郎、芳賀武、久保木守雄（生産部委員）▼第七班小名濱（小名濱、豊間、江名、泉）篠原（擔任）小泉忠文（生産部委員）▼第八班上遠野（上遠野、入遠野）鈴木（擔任）生田日嘉一郎（生産部委員）▼第九班植田（植田、山田、鎌）視學花野（擔任）水野富雄（生産部委員）▼第十班勿來（勿來、川部、田人）古川、高柴（擔任）中野茂（生産部委員）これ等甘藷の接軍が日を次いで增加して居るが既に市内に配給外各班に各町村勧業主任、農業技術員を委員に擧げて實際問題に布陣した、尚第一回綜合調査會を二十四日、二十五日の兩日地方事務所に開き稲作の被害状況につき詳細な調査報告の下に實態調査をなした

石炭輸送道路改修箇所

一百七十二萬圓で本年中に

失業對策を兼ね石炭關係公共土木事業は差當り百七十二萬六千圓で左の輸送道路の改修を本年中に行ふことに決定をみた（括弧内は工費）▼白水―湯山（鷺線）（一〇萬）▼上好間炭礦（一〇萬）▼間明―勿來線（二〇萬）▼勿來―皿貝線（三〇万）▼勿來―日立線（二〇萬）▼上遠野―植田停車場線（三二萬六）▼みかぶ―勿來線（二〇万）▼若川―湯本線（二〇萬）

稲作の實況調査

食糧對策委員會が調査班を編成

石城食糧對策委員會では愈々調査部調査班を編成、米甘藷の作付面積、同豫想收穫高、被害状況、其他生産實態資料調査のため十九日から方部別に活動を開始した▼第一班四倉（大野、四倉、大浦）五十嵐、渡邊（擔任）赤塚直治（生産部委員）▼第二班草野（草野、夏井、高久、神谷）鈴木課長（擔任）高木誠一（生産部委員）▼第三班平（平、飯野、鹿島、好間）矢長、篠山、水山（擔任）藤浦喜、高野

晩秋蠶掃立減

天續きに祟られ

晩秋蠶は一千九百グラムの掃立豫想のところ、天續きに祟られ、桑の發育が前白からぬため蠶にこれと晩合せて二千三百グラムに減じられたので、地方事務所蠶糸課では收繭はどうしても一萬一千貫の目標を達成せしめようと二十六日全養蠶家びかけた

初秋蠶系量十二匁

桑の肥料不足と高温續きで

初秋蠶の集荷は殆んど終了、一昨日中からいよ〳〵晩秋蠶の集荷に入るが、平市片倉製絲へ入荷した初秋蠶は石城一萬五千八百二貫、田村一萬一千貫相馬郡一萬五千貫の四万一千百二貫とある、飼育中高温續きであつたのと、桑葉の發育が外見上は良好ながら肥料不足が祟つて一匁平均で十二匁を缺いて十三匁平均であつた、然し解舒は良好とある

マッチの配給

一時は米との物交の材料となつた程寸も最近生産率の上昇の爲今回は大量配給をする、配給量は五人迄並型二箱、六人以上は大型一箱並型一箱、期日は二十九日から五日間定價從前の壹型一箱五十錢、大四箱とある

諸の配給に非難

食營も實情調査に乘出す

甘藷の豊作は生産者の供出熱をたかめ生産地各曝には野天積となつて溢れ、營團平出張所にも溢れ、澤渡三阪四〇、神谷七二八、草野八〇、大浦一〇〇、四倉二七、大野一八七、小川一四五、川前二合計五百十六町一反

▼蟲害――泉二三六、錦二一、夏井三〇、高久三七、江名五、小名濱二八、草野一〇〇、四倉六〇合計五十一町七反

▼鏑水害――川部三二、田人二、小名濱六四二、磐崎一〇〇、内郷一四〇、合計九十一町六反

▼病虫害――植田一三〇、錦二〇、勿來一一七、高久一五六、江名四〇、鹿島六〇、磐崎四〇、合計五十三町八反

▼其他の被害――泉一五、小名濱二八、合計三〇六、計七百四十三町八反、反當り一石六斗の五割減收と見て五千

池田課長も乘出す

海外引揚者警戒網に

海外引揚者の生活實体を調査する爲池田厚生課長は各支部の家庭を訪問に乘出すことになつた

諸の配給に非難

食營も實情調査に乘出す

◎一萬米／三九分四五秒六銀部芳男（石城）◎四百米走／四九秒四常磐チーム佐藤渡邊（田寺島2平チーム◎高蹴球／二二秒六杉山秀雄（石城2杉山廣喜（石城）◎三段跳／一二米九三山家博孝（石城）◎棒高跳／三米五〇山家博孝（石城）◎砲丸投2太田德重（石城）◎円盤投2太田德重（石城）◎十種（推薦）高崎闘（石城）

茨城甘藷の各地割當は

七、八月の選配

配も九月に入つて甘藷の山又山で各家庭のお寮所はやつと順調になりだしたが最近の茨城からの入荷割當は縣内十二萬五千俵の内、郡内は平一万六千二十俵、小名濱四千五百四十五俵、植田三千五百四十俵、湯本三千二二百八十俵、四倉一千五百俵の計二万八千九百八十五俵來る事になつた

民生委員は嚴選

十一月で全員の切換へ實施

十月一日から生活保護法により民生委員が方面委員に代つて登場することになり、二十五日は開かれた市常會にも提案されて市當局で速急に準備を急ぐことになつた、現在の方面委員は市内で三十四名ありいはゆる名譽職として活動してゐるが、生活保護法の實施に伴ふ方面委員令の發布、民生委員條例の施行によつて十一月いつぱいで全面的に辭任し代つて民生委員が登場する、同委員は擔當區域を限定で選出され方面委員と異り地域別には各町内會、關係機關に各一名その他特殊代表として引揚者、遺族、戰災者、醫者、產婆、保健婦などの代表者らも地域範圍を從來の方面委員は市制されて居り期待されるものが會事業に熱意のある活動家を推薦する從來の方面委員の大部分は老年者であつたのを三十才以上六十歳以下の青年層に解放す代表として出場する

磐女庭球軍

東北大會へ

▼初秋蠶は旱天續のため解舒は尚も向系量は十三匁程度の低さ、晩秋蠶も掃立減とある、見返り物資の土産を占めるものだけに清しまれる

▼石城軍健闘よく縣下陸上競技の選手權七を獲得す、運動界に素晴しい成績を示す、スポーツ石城の意氣やもの凄し

▼民生委員いよ〳〵十一月から登場、選に當つて嚴選主義で臨むとある、殊に青年層の活動力を買ふとあるは嬉しい

▼南郡下の旱天被害で來作は前年よりは七千石失れでも增收とあるが、當初豫想より六千石からの減とある、食事情嚴しい折柄辛い報告十月から二合一勺に配給復元といへ安心は許されぬものと思ふべし

平二校が縣大會へ

男子中等學校各種競技

大會は二十九日郡山安積中學で開催されるが濱三郡代表として機械体操によつて十一月いつぱいで全面的に辭任し代つて民生委員が登場する、同委員は擔當區域を限定で選出され方面委員と異り地域別には各町内會、關係機關に各一名その他特殊代表として引揚者、遺族、戰災者、醫者、產婆、保健婦などの代表者らも地域範圍を從來の方面委員は市制されて居り期待されるものが

七選手權

見事獲得した

石城軍の健闘振、國民体育大會東北豫選を兼ねた縣陸上競技選權大會は二十四日福島師範競技場で開催されたが、わが石城郡は健闘よく七選手權を獲得し氣を吐いた

◎百米／一二秒佐藤忠男（石城）◎八百米2重石進（石城）

外科　諸橋鐵彌
内科　松本源一
平市鎌田町
金成醫院
電八二六番

いわき民報

愚息武久儀南方派遣中去ル五月廿八日泰國バンポン病院ニ於テ戰病死仕リ今般遺骨到着致候ニ付來ル廿八日午後二時自宅ニ於テ告別式執行菩提寺九品寺ニ埋骨致度候間此段謹告仕候
昭和二十一年九月二十六日
福島縣平市字小路
親戚總代　横山忠三郎　鈴木寅次郎

良い品を安く仕入て安く賣りませう
安値自信　平市六丁目大通り
百貨卸商　かいや商店

ノ香リ・コノツケ心地……伸ビ……に女に
高級純植物性
S.Pポマード
會社名SP
東京市平
有名化粧品
全國網元
本舗

開花荘
湯本町ミハコ座前
麻雀クラブ

頼み得る同胞援護會

引揚同胞の窮狀を正視せよ

故郷に歸つたら〝の淡い望みもはかなく消えて心身共に疲れはてた海外引揚者達は既報の如く生活苦と住宅難で全くどん底生活に追ひこまれてゐる。二疊に五人、六疊の板張りに八人はまだよい方で納舎に莚を敷いてからうじて凌いでゐるものもあり、この冬を迎へて引揚者は一体どうするか、磐城聯盟では市援護會の協力をもとめて今后一層これら引揚者に對し積極的な援護の方途を講ずることになつた、現在市内に在る引揚者は三百三十余世帯、このうち歸農したもの一割弱であるが、一方勤勞署には引揚者を對象として求人がありながらも引揚者は積極的に就職の傾向を見せない、これは職についても裸一貫では到底喰べてゆけないと云ふところから來て居りしたがつて手っとり早くもうけのある商人に轉落してゐる、引揚者の生業資金として一定金額を借入れても商資をせぬ前に大半は生活資金に流れてしまふと云ふ狀態であり生活設計の前途は依然として一沫の暗影を投じてゐる、聯盟を通じて配給してゐる衣料品も町村に依つては平等を缺くときへ云はれ物資も男物が主体となつてゐてさし迫つての冬の衣料問題はどうするか、裸一貫の引揚者の惱みは深刻となつてゐる。これ等引揚者の内情に對して同胞援護會等の打つ救濟策が注目視されてゐるが、同會の如きは看板のみで實際活動は行はず今后の期待するところ大なるものがあるが、當局のお座なり式を反省してこの際援護に全力を盡すべきではあるまいか

平商寄附募集に就いて

平商業學校長　服部三甲

九月二十二日附本紙に『平商の寄附募集に就いて』と題する一文を寄せられた方に對しまして學校當局者の立場からお答へ申し上げます。

この問題に就いての疑惑の第一は、本校戰災復興後援會の幹部諸氏十余名が東山か飯坂溫泉に慰安旅行をしたといふこと及び校長始め數職員まで之れに參加したといふこと、而してその費用が寄附金の中から支出されたといふことにあると思ふのですが、恐らくこれは我々が縣當局に對し陳情するため福島へ行き飯坂に宿泊したことが誤り傳へられたのではないでせうか。寄附募集趣意書にも書いてある通り、本校は明年三月までに最少限度六教室の校舎を新築しなければならぬのですが、建築並に設備々品に關する縣の豫算が六月を迎へても未だ決定せず、かくては自然着工もおくれるといふ憂慮すべき狀況にありましたので、縣當局並に縣參事會に對し早急に豫算を決定されたき旨の陳情をなす必要があつたのであります。この目的を以て我々は五月末と六月中旬に福島へ行きました、そして飯坂に宿泊したのは事實ですが、それは斷じて慰安旅行のためではありません、況んや何の用事もない東山へなど行く筈はないのであります。豫算決定後も、起債認可の促進やら、建築設計の打合せなどのため二回出縣して居りますが、宿泊は後援會の某役員の寄附で飯坂の某旅館であります。一行は『十余名打揃つて』などゝいふ大勢ではなくて、父兄商會、女會及び學校の各關係者の三名打揃つて、恐らくこれは我々が縣當局に對し陳情するため福島へ行き飯坂に宿泊したことが誤り傳へられたのではないでせうか。寄附募集趣意書にも書いてある通り、本校は明年三月までに最少限度六教室の校舎を新築しなければならぬのですが、建築並に設備々品に關する縣の豫算が役員合して七人を越えたことはありませんし、陳情に際して校長又はその代理者としての教職員、時には現地に於て書類作成の要あるため事務擔任の職員が同行するのは、寧ろ當然のことと信じます。

尚、右陳情に要した費用の明細並にその支出財源については後援會の會計擔當の方から要すれば公表されることと思ひますが、福島へ行つて下さつた役員の方々は、會長を始め皆夫々相當の自腹を切つて居るやうに見受けましたし、多忙な家業を放擲して時局から不愉快な旅行を敢てして下さつたのでありまして、學校當局者としてはこれらの方々に對して常に相濟まなく思つて居る次第であります、しかもこれらの役員諸氏の熱誠溢ふる陳情については縣當局も好感つたことも事實です、假令單純なる慰勞會であつたとしても、後援會の會長や副會長として、又平方部に於ける寄附募集責任者たる班長としての立場から考へれば、寄附募集に從事してくれた人々が二ヶ月余りの長い間家の仕事を打ちすてゝ書となく夜となく街を飛び廻り、時分どきになつても食事もとらず炎暑の候にも拘らず水一杯飲むでもなく、文字通り手辨當か或はとんでもない時刻に自宅に歸つて食事を濟まして又募集に當るといふ涙ぐましい程の奔走をしてくれた、その結果がかゝる良好な成績となつて現はれたのであります、一應平市内に於ける寄附募集が目標額に達した時に於て、それらの人々の勞を慰唯、熱心の余り、御遂慾と本知める意味に於て會食を催すのも亦已むを得ないことをして諒として頂けることではないでせうか、この費用についても、要すれば、會計から公表されることと思ひますが、出席人員と費用とをにらみ合せてみればそれが所謂『豪遊』でないことは明らかであると考へます。

最後に寄附募集が半は強制的だといふことですが、何等の強權の強權をも背景としない後援會に半ば強制的な寄附募集が行はれる筈はありません。若し應募しなければ後でひどい目に合ふかも知れぬから、いやなのだが致し方なく應募したといふなら、それは半強制的だと云ひ得る所存であります、今後も御親切なる御忠言には喜んで耳傾けるつもりですが、唯私情等にからひを假令拒まられたとしても、後に何のたゝりがあるでせう。御意志がなければ、いくらでも事業を妨害するが如きことなきおことはり出來ることと信じます、又、再三、再四のお願ひにも拘らず應募されなかつた方々も少くなかつたのでありますが、致し方なしながら、度々お願ひに參上したところもあつたでせうが、それは一に早急に豫定額の寄附を待に耐ひたいと思ひます、この上とも市民各位の御後援を賜りたく伏して御願ひ申し上げる次第であります。

感謝の點燈

石城地方事務所では東北電燈と協力木、炭生産に優秀な成績を擧げた增炭無燈火部落に架燈することになり既に三阪村は完了、殘る永戸、入遠野、田人三ヶ村の測量を開始した、これに要する電線は縣から優先的に配給され、配線その他は配電側で極力應援、より一層の增炭に勵んで貰ふことゝした

木炭增産優秀部落へ

坑木岩手から六萬石入荷

喜びの常磐各礦

常磐炭田では增炭の隘路の解決に狂奔してゐるが、坑木不足も見逃せぬ大きな原因ともなつてゐるので、かねて岩手縣に向け六萬石の坑木購入の交渉中のところ、この程成立、去る十八日來毎日四十車宛が沼久内驛から入荷しつゝあり、各炭礦とも大喜びでゐる、尚常磐炭礦にはこの中四万石が入るが、全礦としては使ひ果してしまふので、縣内からも供給を仰ぐべく各坑木生産業組合とも交渉中で差當り二百十石縣内からも入荷する段取りとなつた

高價買入レ

平市南町平舘隣り　中央會館

失業對策事業實施に

來月十五日期し希望調査

失業救濟の公共事業が來月下旬から明春にかけ一齊に施行されるのでこの事業に從事する勞務者に對し、登錄制をとるため十月十五日を期して就職希望調査を行ふことになつた、平勤勞署では來月初旬管内各町村の代表者及び關係者の參集をもとめて懇談會を開き、近郊町村および公共事業施行豫定町村の通勤可能な地域在住の失業者を對象として男は十三才から六十才まで、女子十三歳から四十歳までの稼動可能者の實數調査と登錄を行ひ登錄者を優先的に就勞させることゝした、なほこの調査に登錄洩れのものは就勞の機を逸するわけとなり洩れなく該當者は登錄して下さいと注意を喚起してゐる

湯本町高女職員の誠意

昇格運動費へと俸給全額を寄附

湯本高等女學校の職員連は町を擧げて全校の縣立昇格運動に努めてゐる折柄、自分達もたゞみてゐては濟まないと今度全教職員が運動資金へと一ヶ月の俸給を自發的に寄附した、この誠意に感激した町及び父兄側は先生方の手前でも是非實現せねばと一層の拍車をかけることになつた

サザヤホンヤ
電話二八五番

建築用材
各種家具
建具洋具
製作
小名濱町原木田
壽製材工場
小池實
電二五八番

〝お買物は皆様の
化粧品、固型洗劑、京人形
甘味料、小間物、各種雜貨
▽樂器部新設△
平四丁目
電二六八
やまよし

カメラ
寫眞材料部新設
カメラ高價買ヒ
スキヤ
小名濱町役場前
田中寫眞場

▼新設旅館▲
◎開業…◎
靜かな、氣分のいい、皆様のお宿が出來ましたどうぞよろしく
湯本町吹谷八〇番地
緑屋旅館
伊勢屋旅館
はくすい旅館
（電話日下交渉新設中）

視力試驗設備が有ります
進む文化に守る視力
眼鏡
專門
各眼科醫療指定
玉屋
平市二丁目